

矢吹らしさが漂う

複合施設の基本計画を

〔答〕利用者、町民ニーズを考慮する

富永 「公共施設等総合管理計画」では複合施設の延床面積の縮減を目指すところがあるが、大幅に拡張拡大している。その目的と矛盾していないか。また、矢吹らしさが漂う図書館や中央公民館的交流センターが創出されるためにも、それぞれの基本構想・基本計画が必要ではないか。

町長 利用者のアンケートで、中央公民館の部屋数が少なく、思うように活動が出来るな

いとの意見が寄せられるなど、施設の老朽化に加えて、利用者目線での検討項目が見えてきたところです。

複合施設の延床面積については、基本構想では具体的数値を示していませんが、建設に当たっては、利用者や町民のニーズ、各施設における利用実態の分析などを踏まえ、検討委員会の中で必要とされる施設や面積の議論を

重ね、基本計画、基本設計に反映させていきます。

なお、総合管理計画では、公共施設全体を踏まえ、延床面積の縮減を図ると認識しており、複合施設の延床面積の決定は、財政的な視点、利用者や町民のニーズを考慮し、将来を見据えた計画づくりが重要と考えています。



とみなが 富永 創造 議員



複合施設予定地 (旧JA)

町政を問う (一般質問)

健康なまちづくりの推進を

〔答〕元気で暮らせる町づくりを進める

富永 男女の健康寿命を延ばすための取り組みへの課題は何か。このころの健康不安をもつ当事者や対応に悩む当事者の肉親など身近な人への支援・援助・助言・相談にのってくれる環境がこの町にはあるのか。

町長 健康寿命を延ばすには、特定健診の受診率向上と生活習慣病の予防が大変重要と考えます。広報誌の活用、未受診者へのダイレクトメールや保健事業訪問員による未受診者全戸訪問、40代、50代の小・中学生の保護者へのチラシ配布などで家族ぐるみの健康意識の高揚を図ります。

5	5	5	5
5	5	5	5

死因割合 (平成25年度)			
5	5	5	5
5	5	5	5

メタボリックシンドローム対象者には、保健師が出向き、健診結果の手渡しと、説明をしながら、特定健康診査を行い、現在105名が生活習慣改善に取り組んでいます。

このころの健康不安を持つ方本人や家族等より相談があった場合、保健師が直接相談に応じ、より専門性が必要な場合は、県南保健事務所の健康相談を紹介しています。受診につながらないケースでは、県立矢吹病院と連携し、アウトリーチ事業、いわゆる訪問型診療を実施しています。

その他の質問
・公園管理について